



2026年5月15日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社
 本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 敏樹
 (コード 7957 東証スタンダード、福証本則)
 問 合 せ 先 代表取締役専務 上田 正隆
 電 話 番 号 06-6471-7071

2026年12月期連結業績予想修正および配当予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期(2026年1月1日～2026年12月31日)第2四半期(中間期)および通期の連結業績予想ならびに未定としておりました配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年12月期 連結業績予想の修正

(1) 2026年12月期 第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2026年1月1日～2026年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,300	△ 50	△ 50	△ 70	△ 45.73
今 回 発 表 予 想 (B)	4,500	50	80	370	241.57
増 減 額 (B-A)	200	100	130	440	
増 減 率 (%)	4.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年12月期第2四半期)	4,101	△ 192	△ 199	△ 191	△ 125.32

(2) 2026年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2026年1月1日～2026年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	9,000	150	120	550	359.32
今 回 発 表 予 想 (B)	9,400	150	160	600	391.73
増 減 額 (B-A)	400	0	40	50	
増 減 率 (%)	4.4	0.0	33.3	9.1	
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	8,475	△ 230	△ 162	△ 2,701	△ 1,764.63

(3) 修正の理由

当第2四半期(中間期)連結業績予想につきましては、売上高は主力のサーマルトランスファーメディアが積極的な販売活動のもと、堅調に推移するなど、前回発表を上回る見込みであります。加えて、グループを挙げた生産の効率化や販売費および一般管理費等のより一層のコスト削減に取り組んでおります。また、前期に減損損失を計上した影響により、当第2四半期(中間期)における償却費の発生が抑制されることも相俟って、営業利益、経常利益も前回発表した連結業績予想を上回る見込みとなりました。

さらに2026年12月期第3四半期以降に見込んでおりました、政策保有株式の売却による特別利益(投資有価証券売却益)について、当第2四半期より発生することとなり、親会社株主に帰属する中間純利益も大幅に前回発表予想を上回る見込みとなりました。

また通期業績予想につきましては、中東情勢の不安定な状態から、原材料調達不安ならびに価格上昇圧力など不確実性が高まってきておりますが、原材料の確保に努めるとともに、販売先への一時的な価格転嫁をすすめております。こうした状況を勘案、中東情勢の影響を織り込んだうえで精査した結果、営業利益につきましては、前回発表した連結業績予想から据え置きとなりますが、売上高、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

ただし、上記の予想は、発表日現在において、原材料の調達リスクや値上がり等を含めて、入手可能な情報にもとづき作成したものであります。今後、中東情勢の悪化や長期化が見込まれる場合など、業績の修正が必要となる場合がございます。その場合には速やかに公表いたします。

2 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (2026年2月13日)	未定	未定	未定
今 回 予 想	0.00	118.00	118.00
当 期 実 績	—	—	—
前 期 実 績 (2025年12月期)	0.00	40.00	40.00

(注) 発表日現在で未行使の新株予約権(379,000株)がすべて当期中に行使されたと仮定した場合の期末配当金は95.00円となります。

配当予想の修正の理由

当社は、将来の成長に必要なキャッシュフローや内部留保等を勘案しつつ、株主還元の一層の強化により企業価値の向上を図るため、2024年度決算にかかる配当より、連結配当性向30%以上、ただし配当の下限を連結DOE(株主資本配当率)1.0%とすることを基本方針としております。

上記の基本方針および今回の2026年12月期の業績予想の修正を踏まえ、総合的に勘案した結果、2026年12月期における期末配当予想を1株当たり118円に修正することといたしました。

なお、今回の配当予想を踏まえた予想連結DOEは2.4%の見込みです。(今後、新株予約権が行使されない前提での試算)

(注) 上記の予想は、発表日現在において、原材料の調達リスクや値上がり等を含めて、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上